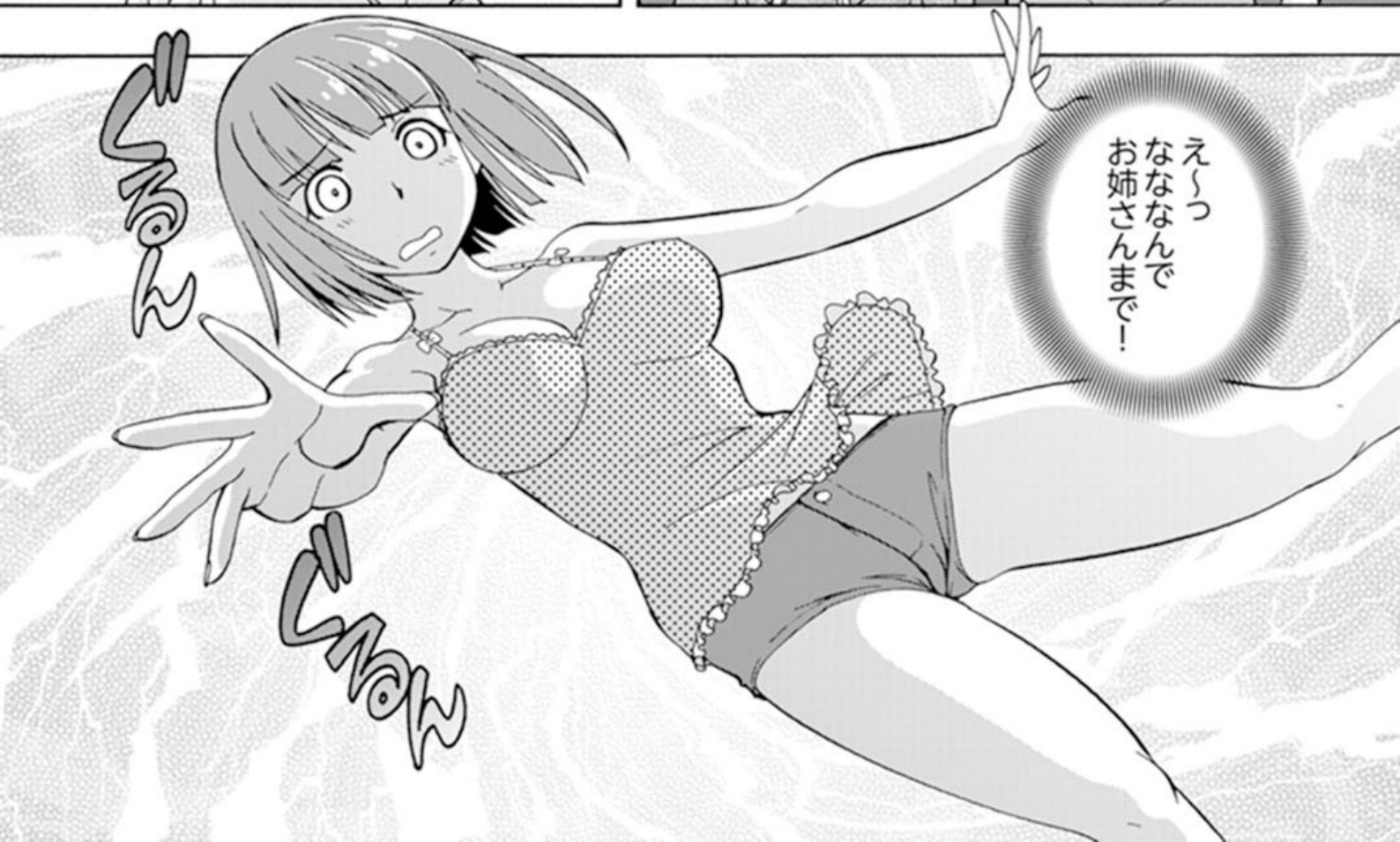


YUBUNE DE KITU KITU MICCHAKU 3P!















そんなコト
言われたって

背中
は
一つ
しか
ない
よ

私が洗います
ってば！

仕方ないわね
じゃあ私は
足を洗うわ

うわっ姉ちゃんの胸
あらためて見ると
デッカイなあ

ポエエ



こうなったら
私だつて!!

女中





ヤバイ
勃って来た！

ウソツカズマ君
私に感じて
大きくなってる
でもちよっと
嬉しいな



私も
は〜いろっと

も…もう
いいからさ
湯船入るよ

モシ
モシ

ちよっと待って
私も入るん
だからあ



むぎゅ

ザッパア

ミツキさんの
家のお風呂
狭いのね

ギョウ

でしたらお姉さんが
先に出れば
いいんじゃないですか

ギョウ

まあまあ
三人で仲良く
入ろうよ

ギキ
ギキ







えっウソ
入ってる〜!?

カチッ

カズマ君
オチ●チ●
入ってるう



あっ

きやつ!!

ズッポッ



ああカズマ君の
すごいようっ

ヌチュ
ヌチュ

痛いけど
なんか嬉しい



ヤバイ
ミツキちゃん
の中...すごく
気持ちいい...



腰が勝手に
動いちゃう

バババ
バババ

ズッポッ





ああもう
ガマンできない

はあ

あっ

はあ



が
わ
ん



あれっ
ミツキちゃん



どうしたの
しっかりして

ミツキちゃん



えっウソ
中であちやうてる!?

ビ
ル
ル
ル

ド
ウ

ああああ

ド
ウ

で...でも
気持ちいいっ





























きゃあ
何してんですか



はあ
もうカズマったら
激しいのね...ふふっ

はあ



ね...
姉ちゃん?





えっ…あつ
入っちゃった!?

ぶっ



あんっ♡
入れちゃあ
ダメよ!



ムギョウ

ヌプッ
ヌプッ



シビレて
立てない

プルプル

いや…あの
…ちよつと



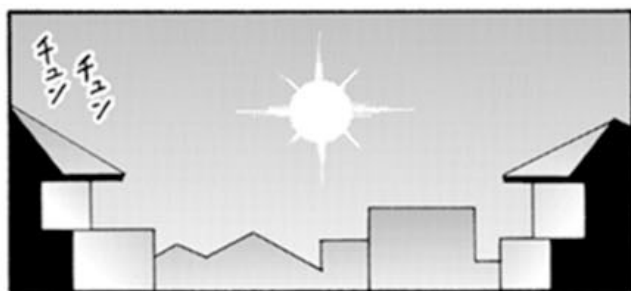
ズシッ

重い…!

ど…どうしたの
カズマ君!?

















何二人とも
驚いているのよ
変な人たちね



私お腹
減っちゃったわ

ところで朝ゴハンの
用意はまだかしら

えっ...あ...
その...



もう
どうしたのよ

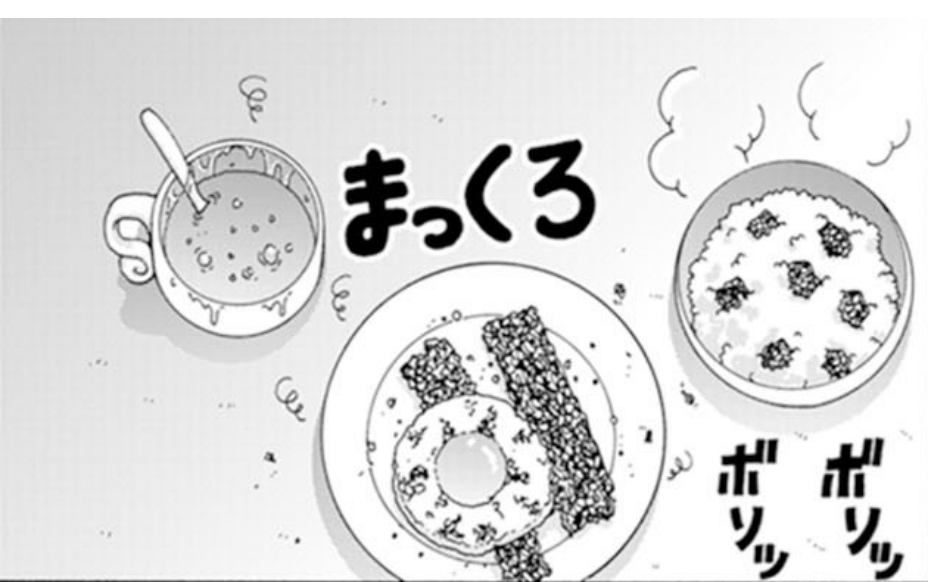


二人とも
何してるの？

あ...あひ
あ...あの...



























こんなに固くして
何言ってるの

ちゅぽ
ちゅぽ



あああ

うわっ凄く
気持ちいい



うっん
カズマ
愛してる
わあ

ちゅぽ
ちゅぽ

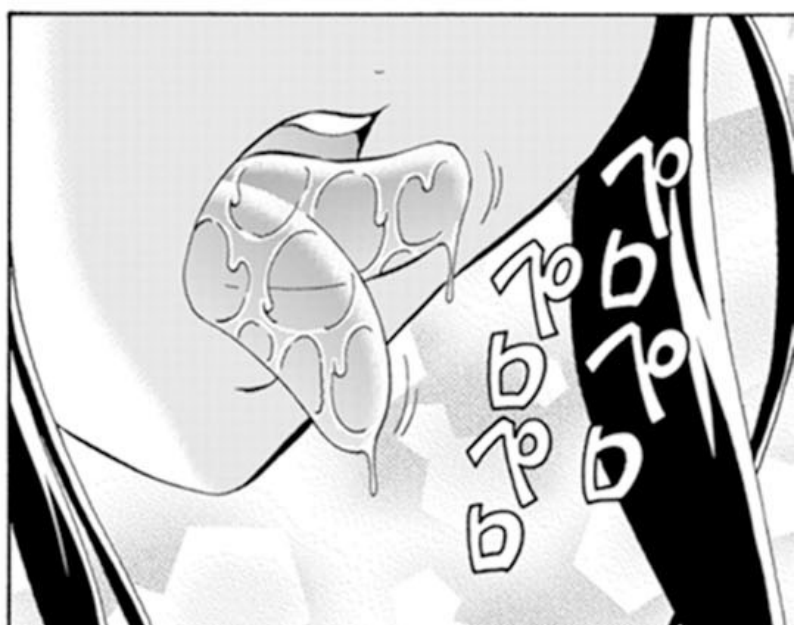


そんな
ダメだよ

ああ姉ちゃん

カポッ

カポッ



ぽぽぽ
ぽぽぽ
ぽぽぽ

あ…俺には
ミツキちゃんが…
いるんだよ

そんなに誘惑…
しない…で…よ
…姉ちゃん…

彼女に一途なのね
カズマったら…

でも体のほうは
どう…かしらね

私が…天国に
イカせて…あん
…あげる…ん

ヌプツ

ダメだよ
姉ちゃん…あつ

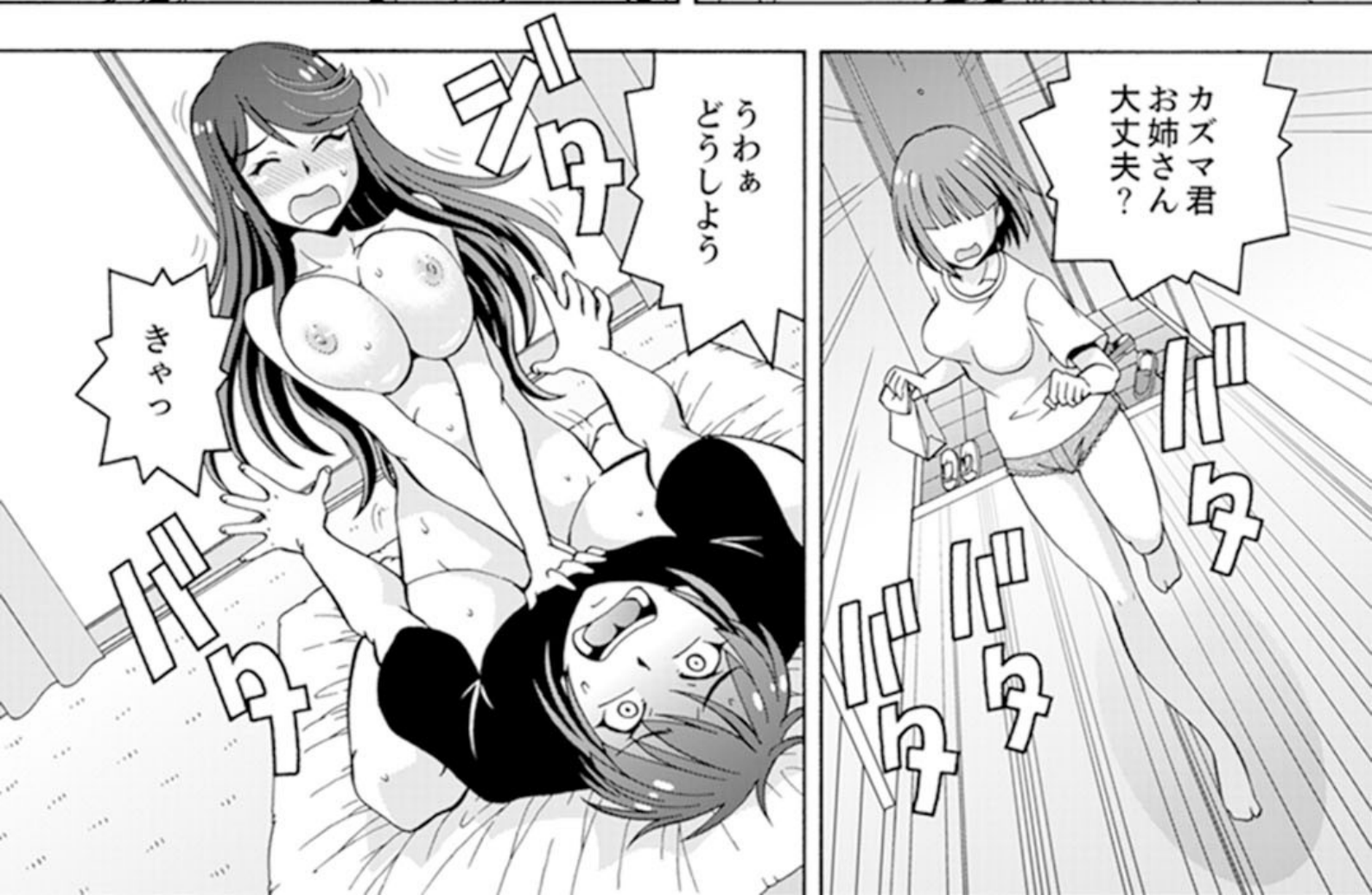
アセツ























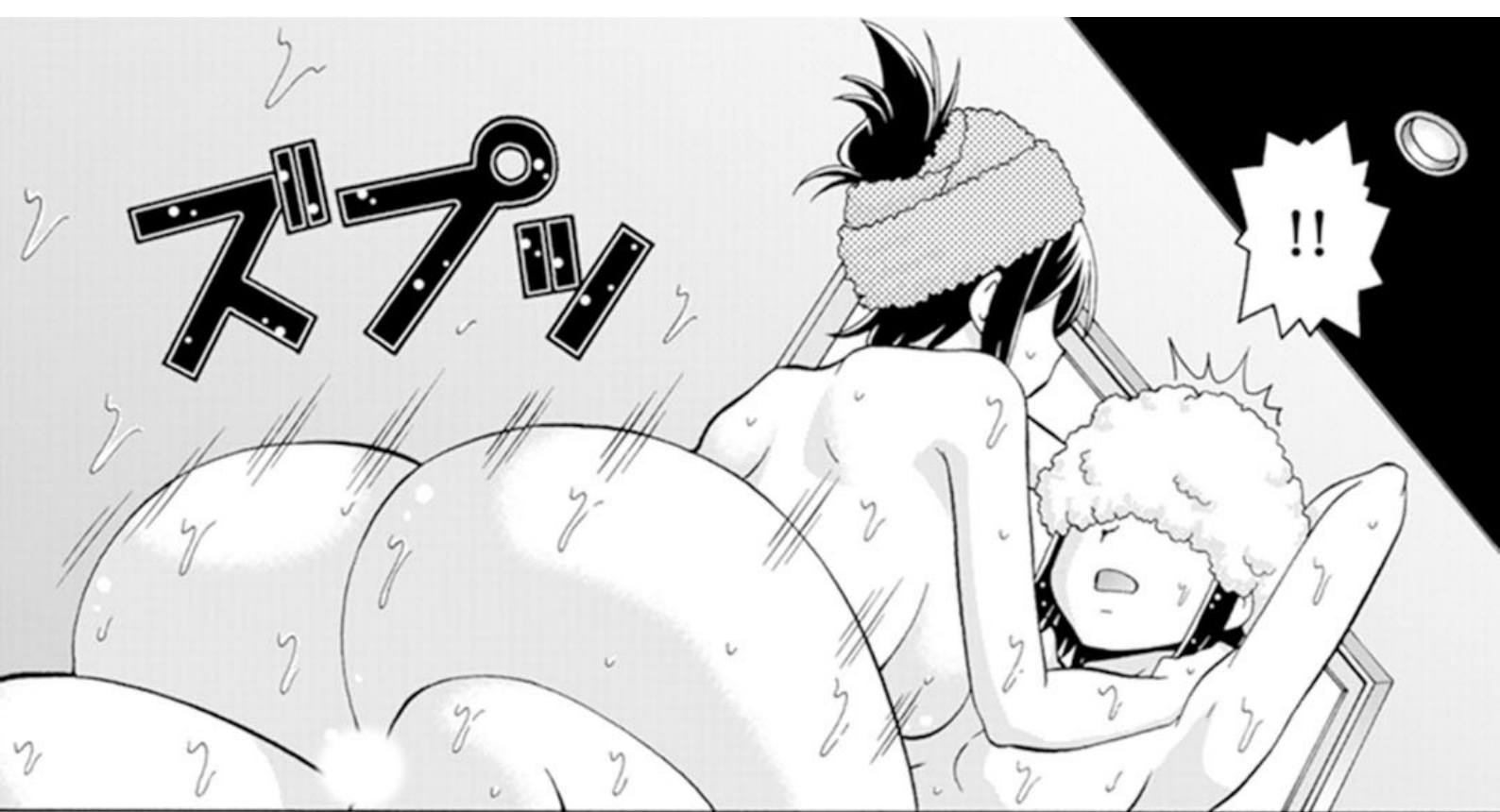














中がヌルヌルで
すごく締まってる

お風呂場だと
一段とコーフィン
するのかな



チュウウ

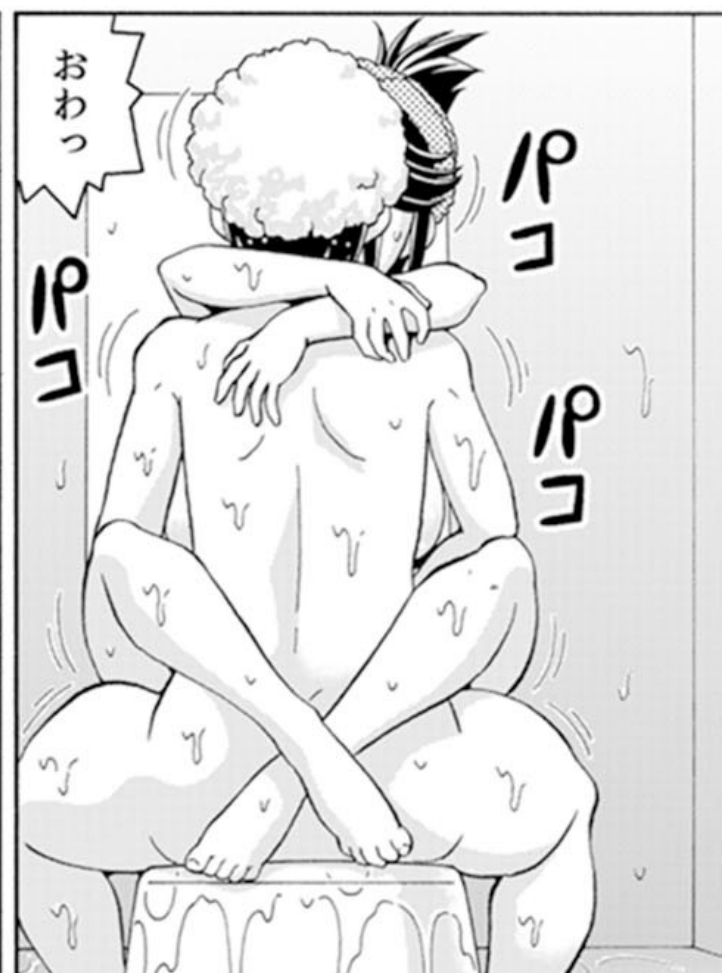


あっ

あん



あっあーっ
もう出る
出ちゃうよ



おわっ

ふわああ
気持ちいい

びり
びり

ああ
ああ

ド
ン
ド
ン

ド
ン

ド
ン

.....

びり
びり

ぎゅ
ぎゅ

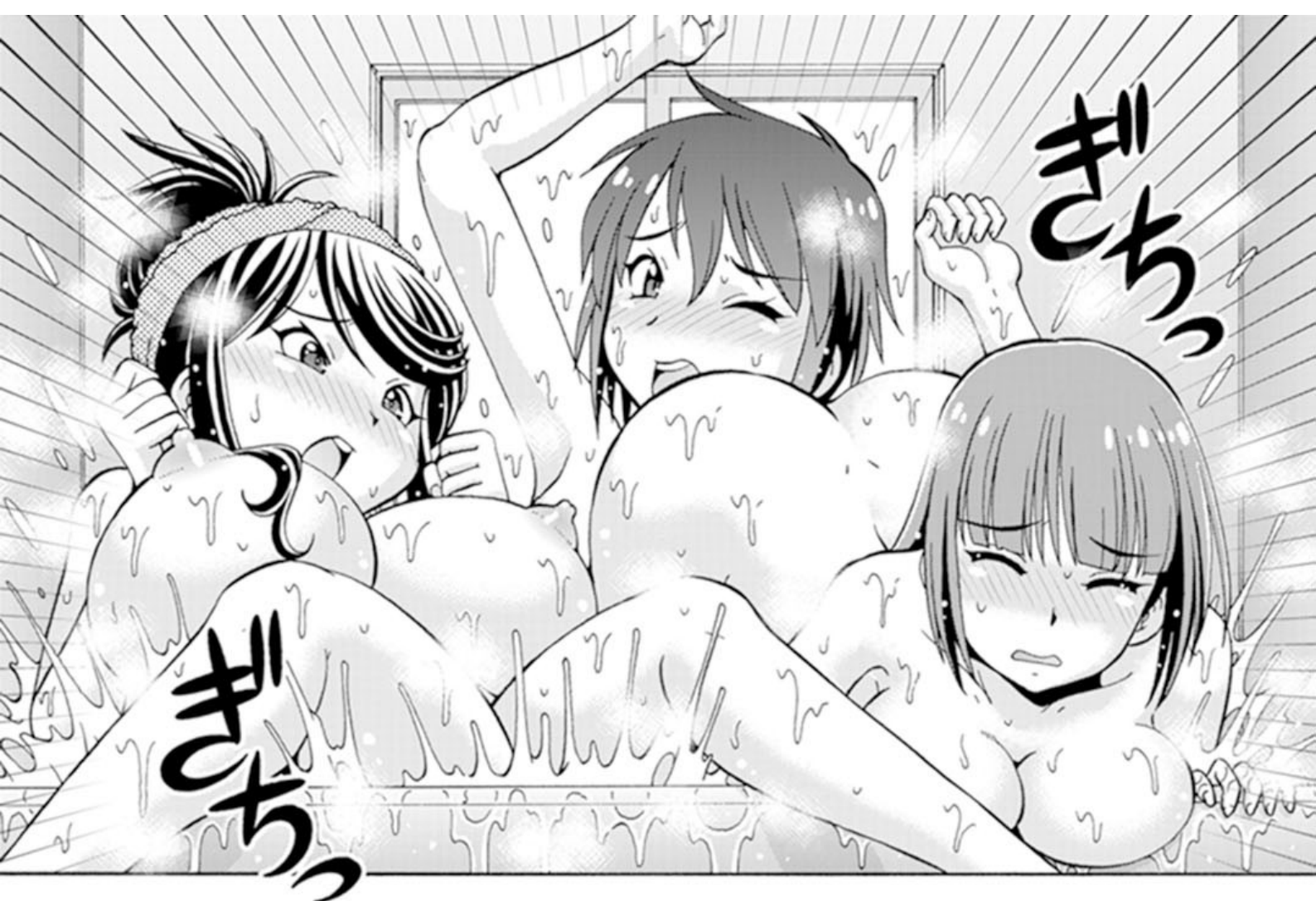
うふっ

プ
ン

ミツキちゃんの
オッパイ
やわらかいなあ









友だちに
銭湯の娘が
いるから

ちょっと連絡
してみます



いいのよ
カズマ君
わざとじゃ
ないし

しょう

ごめん...

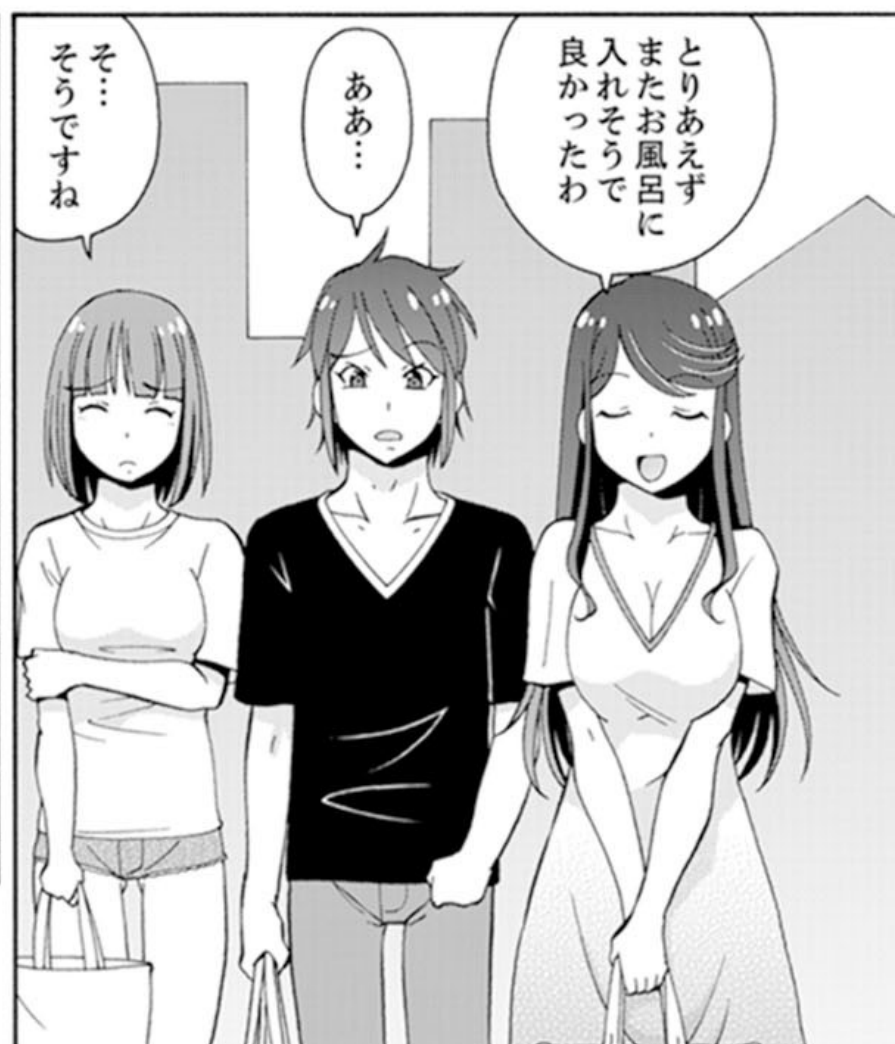


もうこの
お姉さん
疲れる

あつ
そうだ



これじゃまた
お風呂に入れなく
なっちゃったわ
どうしましょう































もしかして
Hしてるの？

えっカズマ君

バシャ
バシャ

あん
シオリに
バレちゃう

ぐん

あん

カズマ君
気持ち良すぎて
声がもれちゃう

ズン
ズン

あっあっ
あゝっ

あああ
もうダメエ

ビュ
ビュ

ビュ







うーん
カズマ君の
あらためて
入れると
大きい…あつ

ズプッ
ズプッ

あふっ



さっきより
痛くないかも

ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ

だから
楽しめそう



欲望に負けてる
自分が情けない

何言ってるの
頑張ってるの
カズマ君



ミツキちゃんに
バレたら大変だよ



くだっ

大丈夫よミツキ
今は失神してる
みたいだから



さつきはのぼせて
わかんなかったけど
シオリさんの中
凄くいい…



あん…あはん
馴れてきたら

どんどん気持ち
良くなってきた…



うふふん
カズマ君もつと
激しくしてえ

シオリ
感じちゃう♡



あゝん
カズマ君の
奥までみっちり
入ってるう



くはっそんなに
締められたら
ガマン出来ないよ



私が寝てる間に
なんでH
してるのよ

アンタたちだけ
楽しむなんて
許せないわ

いや姉ちゃん
これにはワケが

まあまあ
お姉さん
落ちついて

何する
つもりだよ
姉ちゃん!?

私を
混ぜなさい
カズマ!!

いっしょ



姉ちゃん!?



うぶっ



私も混ぜなさい



シオリさん
今のうちに
ミツキちゃんを



えっ
う...うん

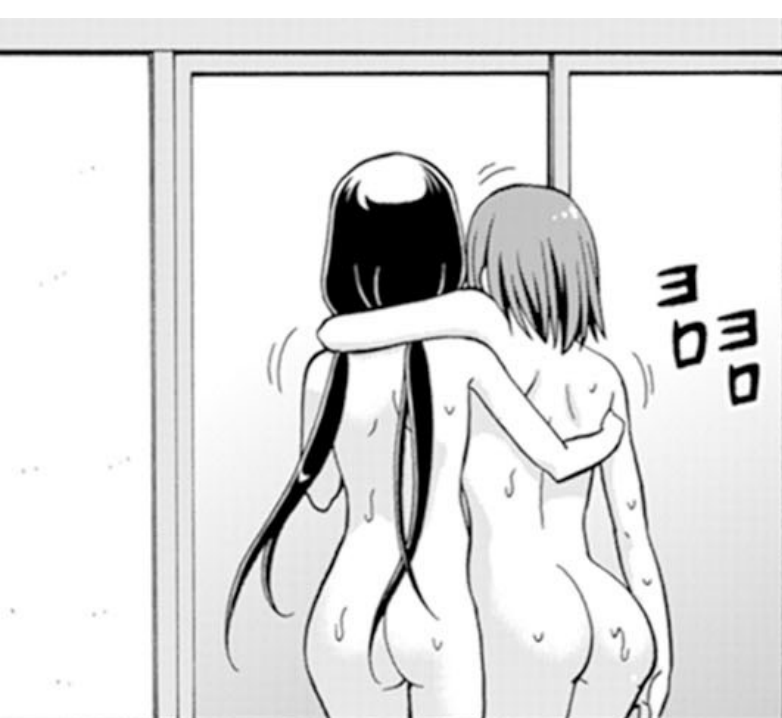


えっ!?

何してんの
カズマ君

ちゅうろ

ちゅうろ



もう！
私のいない所で
楽しんでたなんて
許せない

わゝ誤解だよ
姉ちゃん



私はHしてる所
見たんだからね

さあ覚悟
しなさいカズマ

わあ

ヌル
ヌル

もうシャンプーの
ヌルヌルで力が
入らないよ



そんな激しく
オッパイで
挟まれたら



さあ私も
気持ち良く
しなさい

ムキム



はあゝん
入って来るう

ヌプッ

ヌプッ

おわっ



また
勃っちゃうよ

もにゅ

もにゅ



やんカズマの
オチ●チン
元気じゃない



何言ってんだよ
姉ちゃん



ぎゅっ

もうこのままじゃ
ラチがあかない



ズン

ズン

あんカズマ
すっごくいい♡



姉弟だから
相性バツグンね

カズマの
オチ●チン
気持ちいい



あん

モキュ

モキュ

姉ちゃん覚悟
そりゃあっ!!

モキュ









あなたの
カズマへの愛は
その程度だったの!?



逃げるの!?
ミツキさん

ビクッ



ほいほいって...

カズマが自ら
ほいほいとセックス
するような軽い男
だと思ってるの?



ちゃんと理由を
聞いて納得したの
なら判るけど



思い込みだけで
判断されちゃ
カズマが
可愛そうだわ



ずいぶんと
失礼な話
じゃない

キッ













ああ
ミツキちゃん

カズマ君の
大きくて
ステキ♡

ちゅぽ
ちゅぽ

アッ



ミツキちゃん
すごい濡れてる

あん
恥ずかしい

カズマ君のが
欲しくなっちゃう



僕ももう
ガマン出来ないよ

ああゝん

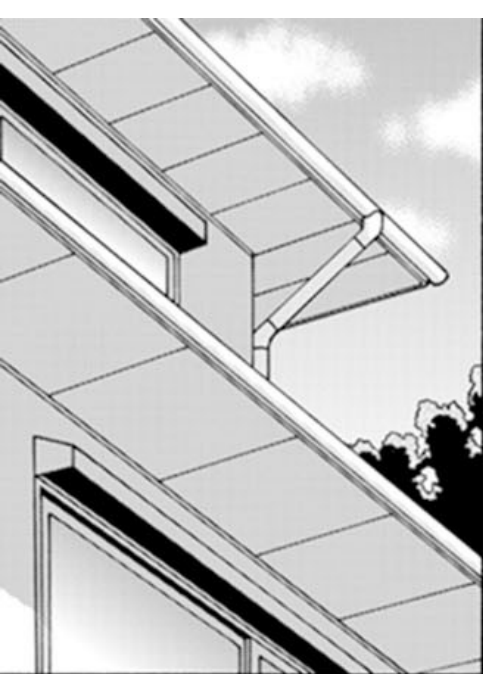
アッ

アッ

アッ







もわっ

えっカズマ君
お風呂
わかったの？

し…知らないよ

ガチャッ

ちやぽん

どうしたの
二人とも
早く入って
来なさいよ

なんでお姉さんが
うちのお風呂に
入ってるんですか!!

お姉さん!?
姉ちゃん!?





おわり

The end...



湯船でキツキツ密着3P！
～彼女と姉がのぼせるまでエッチ
【完全版】

発行日 2019年 7月 1日

著者 ITOYOKO

発行 モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

© ITOYOKO 2019